

(資料提供)

平成29年12月1日

県民文化スポーツ部文化振興課

直通：225-1371

内線：3841、3852

石川県立美術館

直通：231-7580

講演会

「日本の近現代陶芸 ー歴史と鑑賞ー」

石川県金沢市に、日本海側初となる国立美術館が誕生します。

東京国立近代美術館工芸館は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催時期を目標に、開館する予定です。

この開館に向けての気運を醸成するため、昨年度から、石川県立美術館におきまして、東京国立近代美術館工芸館名品展を開催しております。今年度は、工芸館の主力ともいえる「陶磁」をテーマとして、「陶磁いろいろ」と銘打ち、現在開催中です。

今回は、本名品展を県民の皆様により楽しんでいただくために、前東京国立近代美術館の工芸課長であり、現在は茨城県陶芸美術館長を務める金子賢治氏をお招きし、陶芸の楽しみ方について講演をしていただきます。

また、講演会に先立ち、本県が誇る伝統工芸・輪島塗の技法を凝らしたヴァイオリンなどを用いたミュージアムコンサートも開催いたします。

日 時 平成29年12月2日(土) 13時30分～ [開場13時]

会 場 石川県立美術館 ホール

講 師 金子賢治(茨城県陶芸美術館長)

司 会 的場絢香(モデル・レポーター)

プログラム(予定)

13:00 開場・受付開始

13:30 ミュージアムコンサート開演

1. 「G線上のアリア」

ヴァイオリン(坂口昌優氏)、チェロ(細川文氏)、ピアノ(鶴見彩氏)

2. 制作者インタビュー(大徹八井漆器工房 八井汎親氏)

3. 「真田丸のテーマ」 ヴァイオリン、ピアノ

4. 「リベルタンゴ」 チェロ、ピアノ

5. 「ジプシートリオ」 ヴァイオリン、チェロ、ピアノ

14:00 講演会「日本の近現代陶芸ー歴史と鑑賞ー」(金子賢治氏)

15:30 終了予定

講演会

「日本の近現代陶芸 —歴史と鑑賞—」

in 県立美術館

〈日時〉平成29年12月2日(土)

〈会場〉石川県立美術館ホール

参加費無料

事前申込不要

13:00~ 受付開始

13:30~

ミュージアムコンサート 制作者インタビュー

輪島市の漆器工房「大徹八井漆器工房」が制作した
輪島塗のヴァイオリンを坂口昌優氏が奏でます。
ヴァイオリン制作にまつわるお話もお聞かします。



大徹八井漆器工房
八井 汎親氏



ヴァイオリン
坂口 昌優氏



チェロ
細川 文氏



ピアノ
鶴見 彩氏



司会 的場 絢香 (モデル・レポーター)

石川テレビ「石川さん情報Liveリフレッシュ」他、
エフエム石川「Ciao!〜style up your life〜」
レギュラー出演中。



14:00~ 講演会

「日本の近現代陶芸 —歴史と鑑賞—」

前東京国立近代美術館の工芸課長、金子賢治氏が、
陶芸の歴史を紐解きながら陶芸の鑑賞方法や
面白さを解説し、陶芸の楽しみ方について講演します。

金子 賢治氏 (茨城県陶芸美術館長)

現代陶芸評論の第一人者。前の東京国立近代美術館工芸課長として
日本工芸全般を取り上げる現在の工芸館のあり方を確立した。

県立美術館にて開催/11月11日(土)~12月17日(日)



東京国立近代美術館工芸館名品展
「陶磁いろいろ」

2020年に石川県へ移転する工芸館のコレクションを展示します。
「やきもの」という言葉で親しまれてきた陶磁。色や質感を生み出す
技法は並べ出したらキリがありません。
「いろいろ」に表現された陶磁の造形をお楽しみください。

講演会参加者は
観覧料無料

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

「東京国立近代美術館工芸館名品展」開催実行委員会

(石川県文化振興 課内) 平日9:00~17:00 TEL:076-225-1371

TOKYO 2020
文化
オリンピックアード

